

令和6年度ホームページ新規登録の視聴覚教材一覧

メディア: DVD: D 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作 品 名	制作年	メディア	時間 (分)	対象	内 容
人権教育	同和問題	1128	大切なひと	2023	D 字幕 副音声	34分	中高 青教 P一般	ネット社会における部落差別と人権 ～誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして～ 現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトを通して自由に意思表示することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別・外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。 インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として制作されました。
人権教育	人権感覚	1129	心をつなぐ はじめの一步	2023	D 字幕 副音声	26分	青教 P一般	職場におけるさまざまな人権課題を切り口に、人は価値観や背景など一人ひとり違うということを理解し、互いを認めて尊重する気持ちの大切さを、主人公と共に学んでいきます。 職場の誰ひとり取り残さないために、さまざまな人権課題を自分事としてとらえ、誰しもが生き生きと働くためにはどういったコミュニケーションが必要なのか？ドラマを通して『心をつなぐ、はじめの一步』を踏み出すヒントを与える映像教材です。
人権教育	同和問題	1130	破戒	2022	D 副音声	119分	中高 青教 P一般	島崎藤村の名作文学が60年ぶりに映画化された作品。 主人公は自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師であったが、出自を隠していることに悩み、差別の現状を目の当たりにして心を乱しつつも下宿先の士族出身の女性との恋に心を焦がしていた。同僚教師の支えはあったが、学校では主人公の出自について疑念も抱かれ始める。苦しみの中、主人公は被差別部落出身の思想家に傾倒していく。
人権教育	人権感覚	1131	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見 アンコンシャスバイアス職場のコミュニケーション向上のヒント	2023	D 字幕 副音声	24分	青教 P一般	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っていて、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。 この教材は、登場人物の視点や立場が変化する構成によって無意識の偏見が見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容になっています。 自覚なくハラスメントの加害者にならないために……。職場のコミュニケーションを見直すきっかけに役立つことを願って制作されました。